

戎橋～太左衛門橋区間遊歩道、とんぼりリバーウォークに面した大型店舗『ドン・キホーテ道頓堀店』がオープンしました。(平成 17 年 3 月 17 日 10 時)

ドン・キホーテ道頓堀店は、とんぼりリバーウォークで初めて川側に玄関を設けた大型店舗です。世界初の楕円形観覧車を併設した建物は、オープン前から道行く人の話題となっていました。観覧車の全高は、約 77m で晴天下では明石海峡大橋が見えるそうです。

オープン時は、雨の影響もあり開店前の目玉商品を目的とした人も少なく、観覧車に乗る姿もちらほらと幸先の悪いスタートのようでしたが、夕方には遊歩道に 100 人近く集まり、徐々にそのポテンシャルを發揮。

そして、3 連休のなか日となる 20 日にはあふれんばかりの人だかりが出来ていました。

観覧車は 1 時間待ちとなり、直径 10 cm の巨大タコ焼き「爆弾焼き」にも行列ができるほどで、こうした店舗の持つ集客力を思い知らされました。



世界初の観覧車とは

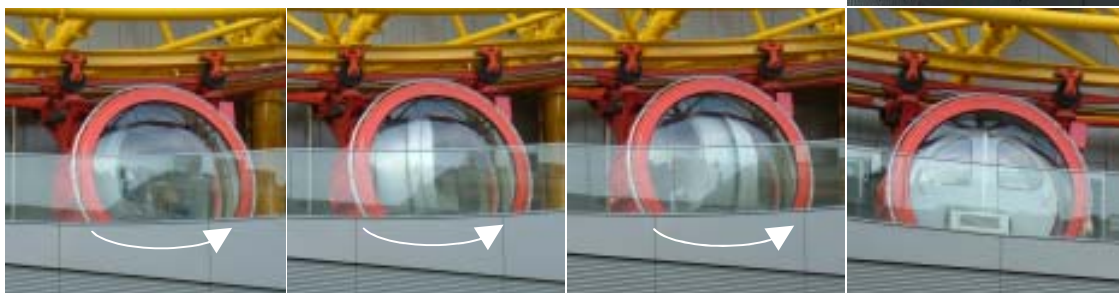
楕円形の中心には商売繁盛の神様「えべっさん」の巨大模型が飾られています。観覧車の足下にも、西側に「水掛けえびす」、東側にはサイズは違いますが楕円形の中心にあるのと同じえべっさんが飾られています。まさに「えべっさんづくし」です。



そのシステム

通常の観覧車と違い、一列横並びの4人乗りとなっているので、乗り降りの方が少し変わっています。座席と背面の壁が、回転扉のように180度回転して、乗り降りを行います。

料金は1人1000円ですが、二人だと合計で1200円と割安になります。早速、行列ができていました。



現在、観覧車の愛称募集中です。皆さん、是非ステキな名前を付けてあげましょう。

(詳細は<http://kansai.donki.com/name/name.html>)

先駆者・大阪

さて、近年、街なかに観覧車が増えています。

昔は遊園地にしかなかったのに...

95年春に青森県下田町のイオン下田ショッピングセンターにオープンした65mの観覧車が遊園地などから飛び出した大型観覧車の先駆けのようです。意外や意外、てっきりどこかの大都市が初めとっていました。

この直後の95年冬に神戸ハーバーランド、97年夏に大阪の天保山、98年秋に大阪梅田と関西に相次いで登場、この後、関東へ、それから全国へと広がっていったようです。

商業施設と観覧車のセットは、百貨店の屋上遊園地が大人向けに進化したものと考えれば納得できる組合せです。

基本的に郊外の大型商業施設やベイエリアなどへの立地が多いのですが、阪急梅田の観覧車は都市の中心部に出現した日本で初めての大型観覧車です。

世界初のビル一体型(ビルトイン方式)という形も話題になりました。



大阪梅田の観覧車

このビルトインタイプ、いつの間にか、横浜市港北ニュータウン、沖縄県北谷町、伊予鉄松山市駅、九州新幹線が開通した鹿児島中央駅にできており、今後も増えそうです。

この松山や鹿児島の例に加えて、名古屋一の繁華街である栄地区のビルの側面にも先日オープンし、来年には札幌の中心部にもできるそうです。

都市中心部への進出がますます加速しています。



鹿児島中央駅の観覧車

こうしてみると、関西というか大阪は、観覧車の新しい形やまちなか進出の火付け役となっており、観覧車の先進地と言えます。次はどんなアイデアが飛び出すのでしょうか。



写真左) ロンドン・アイ (イギリス)

一度に 25 人が搭乗が可能なことや、自転車の車軸のような構造が話題となった。



写真右) ハーバーランド (神戸)

旧国鉄湊川貨物駅の跡地約 2.3 ha を利用し、平成 4 年(1992)に完成。